

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主たる事業である電気事業では、産業用の大口電力が緩やかな増加基調で推移したことなどから、特定規模需要は増加しました。一方で、暖房需要が減少したことなどから、特定規模需要以外の需要は減少しました。この結果、総販売電力量は、345億6千万kWhと、前年同期を0.3%下回りました。

収入面では、販売電力量は減少したものの、燃料価格の上昇による燃料費調整額の増加により電灯電力料収入が増加したことや、他社への販売電力料が増加したことに加え、情報通信をはじめとするその他事業営業収益も増加したことなどから、売上高は647,437百万円と、前年同期に比べて28,921百万円の増収となりました。

一方、支出面では、修繕費の減少などにより電気事業営業費用は減少したものの、総合エネルギー分野において原料費が増加したことなどから、営業費用は590,056百万円と、前年同期に比べて2,668百万円の増加となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

【連結経営成績】

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第1四半期(累計)	平成24年3月期 第1四半期(累計)	増 減	
売 上 高	618,516	647,437	28,921	4.7%
営 業 利 益	31,129	57,381	26,252	84.3%
経 常 利 益	23,870	55,183	31,313	131.2%
四半期純損益	△9,997	34,473	44,471	—

(注) 平成23年3月期第1四半期(累計)においては、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額37,105百万円を特別損失に計上している。

【販売電力量】

(単位：百万kWh)

		平成23年3月期 第1四半期(累計)	平成24年3月期 第1四半期(累計)	前年同期比 (%)	
特定規模 需要以外 の需要	電 灯 計	11,467	11,319	98.7	
	電 力	低 圧	1,092	1,062	97.2
		そ の 他	242	227	93.9
		電 力 計	1,334	1,289	96.6
電 灯 電 力 計		12,801	12,608	98.5	
特 定 規 模 需 要		21,870	21,952	100.4	
合 計		34,672	34,560	99.7	

(注) 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(単位：百万円)

科 目	平成23年3月期末	平成24年3月期 第1四半期末	増 減	
資 産	7,310,178	7,288,980	△21,198	△0.3%
負 債	5,477,761	5,449,136	△28,625	△0.5%
(うち有利子負債)	(3,409,831)	(3,521,213)	(111,381)	(3.3%)
純 資 産	1,832,416	1,839,843	7,427	0.4%

自 己 資 本 比 率	24.8%	24.9%	0.1%
-------------	-------	-------	------

当四半期末の総資産は、設備投資額が前年同期に比べて12,613百万円増加(+14.7%)の98,157百万円となったものの、減価償却費が98,879百万円となったことなどから、前年度末に比べて21,198百万円減少(△0.3%)の7,288,980百万円となりました。

当四半期末の有利子負債残高は、法人税や期末配当金の支払いなどの季節的な資金需要に対応するため、コマーシャル・ペーパーなどを活用した結果、前年度末に比べて111,381百万円増加(+3.3%)の3,521,213百万円となりました。

また、当四半期末の純資産は、期末配当金の支払いなどによる減少があったものの、四半期純利益を34,473百万円計上したことなどにより、前年度末に比べて7,427百万円増加(+0.4%)の1,839,843百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて0.1%上昇し24.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故の影響により、定期検査中の原子力発電所の再起動時期が未定であることおよび節電のお願いによる今後の販売電力量の見通しへの影響の見極めが困難であることなどから、一定の前提を置いて業績を想定することができないため、連結、個別ともに、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点において、速やかに開示いたします。